

2 地域における普及活動実績

地域の担い手とともに ミニトマト、花きの安定生産を達成
～地域をリードする新ひだか町静内東別地区の農業～

- ◆活動年次：平成28～令和2年度 (課題番号 1)
- ◆対象：新ひだか町静内東別3農事組合地区(12戸)

1 活動の背景

地域振興作物であるミニトマトや花きの収量・品質向上が求められている。
労働力の周年維持のため、冬野菜の導入が増加しており、栽培技術の向上求められている。
地域農業の持続的発展に地域担い手(新規参入者)の収量の安定化が急務である。

2 活動の経過

○地域振興作物の安定生産

地域振興作物と冬野菜の安定生産

冬野菜を導入し労働力の周年維持

【ミニトマト】
土壌診断と栄養診断に基づいた施肥量を提案

【ミニトマト】
断面調査で根張りと耕盤層の位置を農業者と確認

【冬野菜】
作付体系や経済性の情報を提供

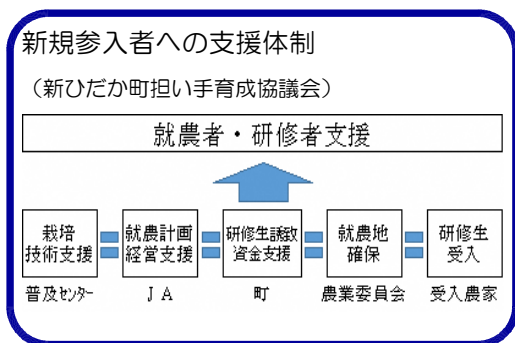
【デルフィニウム】
育苗中の夜冷開始時間の改善を提案

【デルフィニウム】
新設ハウスの土壌診断と病害虫防除の実施を提案

【冬野菜】
ホウレンソウ作付け農業者と害虫防除の時期を検討

【デルフィニウム】
チェック表を用いて品質管理技術を農業者と確認

○地域担い手の育成



担い手協議会ではほ場巡回や冬期講座を開催

協議会役員会では参入者の状況把握と対応を協議



3 成果の具体的内容

○地域振興作物の安定生産

ミニトマト栽培における提案技術の実施状況と収量変化

農業者	新規就農年	土壌診断	栄養診断	連作障害対策			マンガン過剰対策	収量変化 (開始年対比)
				緑肥導入	土壌消毒	被覆除去		
B		○	○	○	○	○		→
C	H27	○	○	○			○	↗
D	H28	○	○	○		○	○	→
G		○	○	○	○	○		→
H		○	○	○				↗
L	H29	○	○	○				→
M	H29	○	○	○			○	↘
N	H30	○	○	○		○		↘
O	H30	○	○			○		→

※収量変化:開始年より +15%以上「↗」、±15%「→」、-15%未満「↘」



農業者

被覆をはずしたら、ミニトマトの出来がよくなったよ。

栄養診断は栄養状態を数値で確認できて、追肥のタイミングがつかめたよ。

必要な提案技術を実践

収量の維持向上につながった



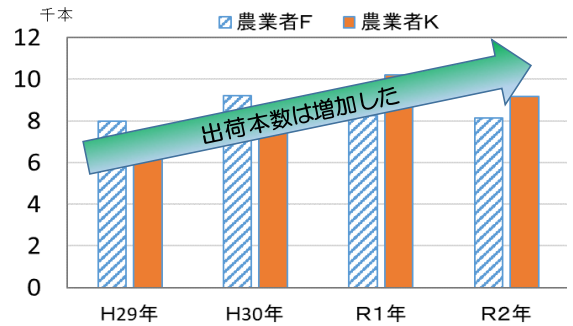
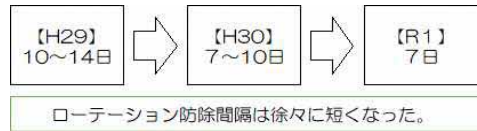
農業者

花き栽培に対する提案技術定着状況

農業者	鮮度保持技術改善*		夜冷育苗技術改善	土壌診断	施肥の見直し
	H28	R2			
F	14	16	○	○	○
K	14	16	○	○	○

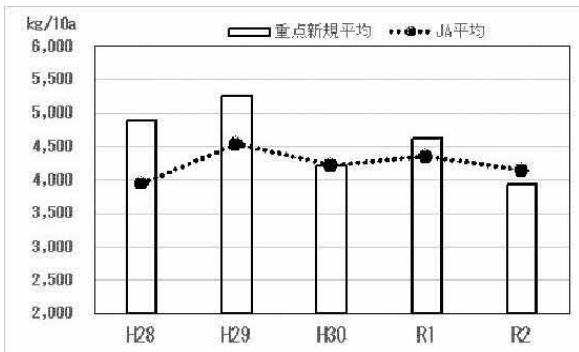
*17項目中達成された項目数

防除間隔の変化（農業者K）

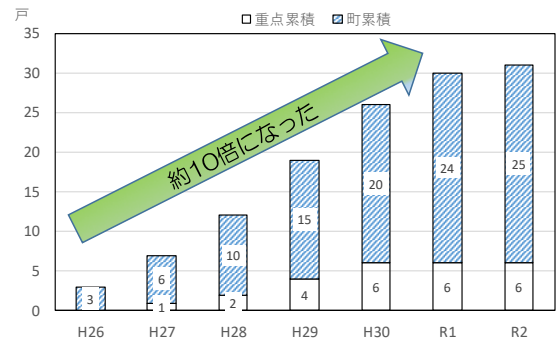


デルフィニウム出荷本数の推移

○地域担い手の育成



新規参入者の平均反収の推移（重点地区）



新規参入状況（新ひだか町）

新規参入者はJA平均並の反収を確保しており、地域へ着実に定着している。

4 今後の対応

5年間の活動において一定の成果を得た。活動中の土壌断面調査等により土壌物理性が生産性に影響を及ぼしていると考えられるため、次年度以降取り組む。

